

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	新井 清宏
教育委員会事務局	吉岡 喜代和

1 関連する個別計画

PLAN

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備を進めるための方向性を示すもの	平成18年10月		計画期間なし
国史跡網野鈔子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野鈔子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針		
1	本市には、優れた考古資料や歴史資料、民俗資料があり、歴史資料館等で展示公開しているが利用が少ない。	資料館での常設展示・企画展示や体験メニューの充実させる	入館者を増加させ本市の優れた文化財を広く普及啓発し学習活動、観光につなげる	1	歴史資料館のネットワーク	
				2	丹後王国の歴史文化の保存・発信	
				3	文化財の保存と活用	
2	本市には「丹後王国」時代の優れた史跡が多いが、十分な整備がされていない部分がある	網野鈔子山古墳などの史跡整備を進め、市民への歴史を学ぶ機会を提供する	市民に丹後の歴史を体感できる整備を進め、歴史への関心と郷土愛を培い、観光資源としても活用する	1	歴史資料館のネットワーク	
				2	丹後王国の歴史文化の保存・発信	
				3	文化財の保存と活用	
3	貴重な文化財が経年劣化しており修繕等の措置を必要がある。また市民等に市の歴史や文化財に関心を持ってもらう必要がある	補助制度の活用により文化財の保全を図り、文化財セミナー、京丹後史博士講座、歴史講座などを開設する	貴重な文化財を保全し後世に伝え、歴史講座などの開設で、郷土の歴史を学び郷土愛を培う	1	歴史資料館のネットワーク	
				3	文化財の保存と活用	
4	京丹後市に残る資料、文化財の調査研究が十分なされていないかった	京丹後市史編さん事業により、市史の調査研究を進め、成果を本文編、資料編として刊行する	京丹後市史の編さん事業の実施により、研究成果を刊行物で公表することで、歴史を学べる機会を提供しまちづくりに生かす	4	市史編さんの取り組み	

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度		年度		年度		年度	
	「丹後王国」の情報発信の力を高めます	文化財博士登録制度の登録者数	0人	H16	34人	H20	43人	H24	100人	H26
		京丹後市史の刊行	新規	—	0巻	H20	9巻	H24	14巻	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値(現状)		目標	
				年度		年度		年度	
	なし								

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

施策方針	事務事業		事務事業の概要														施策評価結果		
			H24決算額	H25予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	対象	実施 手法	関与必要性		施策 目的	施策 貢献度	今後の 方向性				
	事業内容(実績)	担当課									数値	説明							
1 歴史資料館のネットワーク	1 郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	2,154	2,099 (2,064)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1	A	統合(整理)				
	網野郷土資料館の維持管理と運営(入館者数963人)																		
	2 古代の里資料館管理運営事業【方針2にも該当】	文化財保護課	20,828	9,834 (9,032)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1,2	A	現状維持				
	丹後古代の郷資料館の維持管理と運営(入館者数2,683人)																		
2 丹後王国の歴史文化の保存・発信	3 指定管理施設運営事業	文化財保護課	7,729	7,468 (7,468)	市規定	単費	○	サービス	市民	指・他	3	個性魅力	1,3	A	現状維持				
	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理・運営(入館者数9,599人)																		
	1 丹後建国1300年記念事業	企画政策課	2,760	8,340 (7,240)	なし	他	含む	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	終了・廃止				
	記念シンポジウムを開催、歴史伝説をテーマとしたモニターツアーを実施、実行委員会負担金を支出																		
	2 遺跡整備事業【方針3にも該当】	文化財保護課	16,727	34,962 (438)	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	現状維持				
	国史跡網野鈔子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(9筆)																		
	3 遺跡整備事業【明許繰越】【方針3にも該当】	文化財保護課	-	8,525 -	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業														
	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業																		
3 文化財の保存と活用	4 文化財保護啓発事業【再掲】方針3	文化財保護課	1,801	1,075 (1,055)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,2,3	A	拡大				
	資料館での企画展示や文化財セミナー(4回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施																		
	5 古代の里資料館管理運営事業【再掲】方針1	文化財保護課	20,828	9,834 (9,032)	市規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1,2	A	現状維持				
	丹後古代の郷資料館の維持管理と運営(入館者数2,683人)																		
	1 文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課	440	472 (472)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	-	4	B	現状維持				
	文化財保護審議会を開催(4回)、文化財保護審議会の視察研修を実施(香川県有岡古墳群、丸亀城等)																		
	2 文化財保護啓発事業【事故繰越】	文化財保護課	299	- -	市規定	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	3	B	現状維持				
	永浜宇平関係資料調査報告書を印刷(200冊)																		
4 市史編さんの取り組み	3 文化財保護啓発事業【方針2にも該当】	文化財保護課	1,801	1,075 (1,055)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,2,3	A	拡大				
	資料館での企画展示や文化財セミナー(4回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施																		
	4 文化財保護啓発事業【明許繰越】	文化財保護課	-	324 -	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業														
	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業																		
	5 市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	2,000 (2,000)	市規定	単費	○	維持管理	団体	補	3	個性魅力	3	A	現状維持				
	文化財の修理保全事業に対して補助金を交付(18件)																		
	6 史跡等維持管理事業	文化財保護課	2,678	1,732 (1,732)	国規定	単費	○	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	2,3	B	現状維持				
	史跡等の維持管理、指定文化財の補修・草刈等を実施(16か所)																		
	7 文化財整理事業	文化財保護課	218	458 (458)	市規定	単費	○	内部管理	-	-	-	-	3	B	現状維持				
	写真資料のデジタルデータ化(5,321点データ化)																		
	8 遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	2,057	2,144 (644)	国規定	国・一部	-	内部管理	-	-	-	-	2,3	A	現状維持				
女布遺跡(久美浜町女布)の範囲確認調査を実施し、結果を報告書として発行(300部)、市内の遺跡台帳を整理																			
9 文化財保護一般経費	文化財保護課	653	617 (617)	なし	単費	○	サービス	団体	直・補・負	3	個性魅力	3	B	現状維持					
文化財保護関係団体への負担金支出、関係団体への補助金交付及び施設の維持管理																			
計	10 遺跡整備事業【再掲】方針2	文化財保護課	16,727	34,962 (438)	国規定	国・一部	含む	施設整備	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	現状維持				
	国史跡網野鈔子山古墳の遺跡保護のため、用地の一部を購入(9筆)																		
	11 遺跡整備事業【明許繰越】【再掲】方針2	文化財保護課	-	8,525 -	平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業														
平成24年度事業の一部を繰り越して実施する事業																			
計	1 市史編さん事業【明許繰越】	文化財保護課	2,300	- -	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	4	A	終了・廃止				
	京丹後市史本文編『図説京丹後市の歴史』を印刷し、刊行(1,500冊)																		
	2 市史編さん事業	文化財保護課	11,491	10,947 (10,947)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	4	A	終了・廃止				
本文編2冊と資料編12冊の刊行のため各種調査の実施、資料編『京丹後市の美術』ほか3冊を刊行(各600部)																			
計			60,344	80,050 (33,220)															

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位：千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
施策における歳出抑制の考え方	1	市史編さん事業について、調査方法の見直しを行い、経費の削減を図っており、引き続き効率的な調査を実施していく(本事業は、平成26年度で終了するため、一般財源抑制見込額は、平成26年度時点における抑制見込額を計上)。	892千円	

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,154千円		2,311千円	157千円	93.2 % 2,278千円
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である郷土資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関する住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。 平成24年度入館者数 963人（平成23年度入館者数 885人） ○人件費 ・臨時職員賃金・共済費 1,611千円 - 臨時職員3人分の賃金と労災保険料 ○維持管理経費 ・消耗品費 70千円 ・燃料費 20千円 ・光熱水費 130千円 ・電話料 60千円 ・火災保険料 54千円 ・機械警備委託料（長期継続契約） 168千円 ・コピー機借上料 10千円 ・清掃用具借上料 11千円 ・テレビ受信料 15千円 ・施設修繕料 5千円			
主な財源	使用料 郷土資料館入館料			21千円
評価・課題等	○施設を適切に維持管理し、市内でかつて使用された生活道具（民俗資料）を広く市民や市外からの来訪者へ公開することで、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。 ○小学生の社会科見学で実物に触れるなど、さまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につながった。 ○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、施設の老朽化が進んでいるため、市の公共施設見直し計画に基づき、施設の統合について検討する必要がある。			
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課		

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業		
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業				決算書	P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
20,828千円		20,912千円		84千円	99.5 %	8,825千円
目的	考古資料等の調査保存、公開施設である古代の里資料館の維持管理を行うことで、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶことに資する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈・寄託を受けた考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。					
	また、常設展示室の展示リニューアルや、常設・企画展示室の展示ケースのエアタイト化改修工事を行い、市所蔵重要文化財の公開がはかれるよう、資料館の設備の改善を図ることができた。					
	平成24年度入館者数 2,683人（平成23年度入館者数 3,343人）					
	○人件費					
	・ 資料館長報酬、共済費、費用弁償					2,425千円
	資料館長報酬 166,500円×12か月＝1,998千円					
	・ 臨時職員賃金、共済費					3,207千円
	臨時職員3人分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担分					
	○維持管理経費					
	・ 光熱水費					1,333千円
・ 消耗品等					441千円	
・ 通信運搬費等役務費					255千円	
・ 機械警備委託料					147千円	
・ 浄化槽維持管理委託料					299千円	
・ 土地借上料（2,915㎡）					121千円	
・ その他管理経費（清掃用具借上・コピーリース・小修繕等）					970千円	
○体験用経費						
・ 原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料）					67千円	
・ 報償費（窯焼謝礼）					52千円	
○工事請負費						
・ 屋根修繕工事（爆弾低気圧によるもの）					400千円	
・ 展示リニューアル及び展示ケース改修工事					11,111千円	
主な財源	使用料	古代の里資料館入館料				427千円
	使用料	公有財産使用料				98千円
	諸収入	古代の里資料館陶芸体験実習料、古代の里資料館書籍販売代金ほか				215千円
	諸収入	市有建物損害共済金				181千円
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				11,100千円
評価・課題等	○小中学校の地域学習の拠点施設として活用することで、市内小中学生の市の考古資料などの知識を深め、関心を高めることができた。					
	○常設展示のリニューアルにより展示内容を一新し、展示ケースの改修を行うことで、市所蔵重要文化財の展示が可能となり、郷土に残る文化遺産に関する住民の関心を高めることができた。					
	○効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、管理形態の見直しについて検討する必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業		
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書	P.350
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,729千円		7,729千円		0千円	100.0 %	7,729千円
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の美しい自然と鳴き砂を広く普及啓発する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂の学習施設や環境学習の施設として、環境保全について学べる施設として指定管理制度を導入し、掛津区が管理運営にあたっている。教育施設の性格を持つとともにジオパークを紹介する展示を行う観光施設ともなっている。平成24年度は琴引浜のガイドブックを作成して琴引浜の普及啓発を図った。 琴引浜鳴き砂文化館 平成24年度入館者数 9,599人（平成23年度入館者数 11,769人） ○需用費 琴引浜ガイドブック印刷製本費（3,000部）261千円 ○委託料 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料6,268千円 （運営に必要な人件費、施設の維持管理経費） ○使用料及び賃借料1,200千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料					
主な財源						
評価・課題等	○各種の展示事業に加えて、琴引浜をテーマにしたガイドウォークにも取り組み、積極的な管理運営に努めた。さらに、各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業への支援・協力など行政サイドと連携し、京丹後市の代表的な施設としての役割を果たし、琴引浜の普及啓発に貢献している。 ○リピーターを含め市内外の利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアルの検討などの取り組みを進めるとともに、経費の節減に努める必要がある。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	10丹後建国1300年記念事業	
細事業名	01 丹後建国1300年記念事業				決算書 P.88
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,760千円		2,764千円	4千円	99.8 %	0千円
目的	観光振興につながる3市2町の丹後地域一帯となった取り組みを実施するとともに、市においても地域の宝を発見、活用する事業を実施し、丹後地域の魅力を発信する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	丹後建国1300年の機会をとらえ、京丹後市の歴史・伝説など地域の宝の再発見やまちづくりに活用するための機運を盛り上げるため、吉本興業(株)と連携して記念シンポジウムの開催や京丹後市の歴史伝説をテーマとしたモニターツアーを実施した。				
	○丹後建国1300年記念事業実行委員会負担金 760千円 (丹後建国1300年記念事業実行委員会構成員数 23団体(平成25年3月31日現在)) ○丹後建国1300年記念シンポジウム 開催日：平成24年11月3日 参加者数 約300人 場所：京都府丹後文化会館 ・会場借上料 148千円 ・委託料 533千円 (司会者出演・吉本興業 漫才師 宮川大助出演・会場設営・警備) ・講師謝金(パネリスト・コーディネーター) 47千円 ・費用弁償(パネリスト) 21千円 ・印刷製本費 165千円 (周知チラシ 25,000部、プログラム 600部) ・消耗品(ステージ装花) 50千円 ○丹後建国1300年記念歴史・伝説ウォーク 開催期間：3月の特定期間 ・リーフレット作成(84,000部) 340千円 ・ツアー開発専門家派遣委託料 275千円 ・新聞折込料(4市2町) 415千円 ・モニターツアー参加者記念品 6千円				
主な財源	府補	未来づくり交付金(丹後建国1300年記念事業)			300千円
	諸収入	活力ある地域づくり助成事業助成金			2,000千円
評価・課題等	○シンポジウムの開催により、丹後建国1300年の意義や京丹後の歴史や伝説を再認識・再発見する機会になるとともに、丹後建国1300年をまちづくりに活かす機運を盛り上げるきっかけとなった。 ○京丹後市民や周辺市町に京丹後市の歴史や伝説をテーマとする資源の発信やモニターツアーにより今後のツアーの可能性を検討できた。				
事業所管課		企画総務部／企画政策課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業		
細事業名	01 遺跡整備事業				決算書	P.358
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
16,727千円		25,264千円		8,537千円	66.2 %	96千円
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度は、国史跡網野銚子山古墳について、23年度に策定された整備基本計画に沿って、遺跡の保護を図るため用地の一部を購入した。					
	○事業経費					
	・旅費	用地購入に関する協議旅費				51千円
	・委託料	不動産鑑定委託料（近接地）				304千円
	・公有財産購入費（土地購入 9筆：4,976.39㎡）					16,372千円
	参考	明許繰越費を除いた最終予算額		16,739千円		
		実質的な予算執行率		99.9%		
	■平成25年度への繰越事業					
	公有財産購入費（土地購入）		8,525千円	※平成25年12月完了予定		
主な財源	国補	史跡等購入費補助金（4/5）				13,097千円
	市債	遺跡整備事業債（合併特例債）				3,400千円
評価・課題等	○国史跡指定地の一部ではあるが、用地購入したことにより古墳の保護を図ることができた。 ○「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき多方面への活用が可能になるよう一定の環境整備を行うことが将来的な課題である。					
事業所管課		教育委員会／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業	
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書	P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
440千円		505千円	65千円	87.1 %	516千円
目的	文化財の指定・解除等を諮問する附属機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及びその活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用、普及啓発に資する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○両丹文化財保護連絡協議会の実施 68千円				
	平成24年度は京丹後市が当番市で、弥栄地域公民館及び丹後古代の里資料館を会場に実施し、7つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。				
	・報酬 1回（7千円×9人） 63千円				
	・費用弁償 5千円				
主要な事務・事業及び成果の概要	○文化財保護審議会の開催経費 167千円				
	市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。				
	・報酬 4回（4千円×36人） 144千円				
	・費用弁償 23千円				
主要な事務・事業及び成果の概要	○文化財保護審議会委員視察研修費 205千円				
	京丹後市の文化財行政に活かすため、史跡の整備活用の先進地や、京極家ゆかりの文書を閲覧するなどの視察研修を行った。				
	3月4日～5日（香川県、有岡古墳群、丸亀城など）				
	・旅費（10人） 137千円				
主要な事務・事業及び成果の概要	・その他経費 68千円				
	(燃料費、バス運転委託料、有料道路通行料)				
	主な財源				
	評価・課題等				
○両丹文化財保護連絡協議会の開催により、参加市町間において意見交流を行い研鑽を積むことができた。					
○委員視察研修では史跡整備、京極家ゆかりの古文書を閲覧するなどをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。					
○多数の文化財について限られた回数の審議会の中でいかに効率よく審議するかが課題である。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業		
細事業名	01 文化財保護啓発事業（繰越）				決算書	P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
299千円		300千円		1千円	99.6 %	300千円
目的	京丹後市に数多く残されている文化財や、その調査成果などを広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財保護の重要性を知ってもらい文化財の普及啓発を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○永浜宇平関係資料調査報告書印刷299千円 平成23年度からの事故繰越事業であり、4月20日に200冊が納品されて事業が完了した。 ※永浜宇平 永浜宇平は明治3年（1880）、三重村（現在の京丹後市大宮町三重）に生まれた郷土史家。農業の傍ら、その生涯に郡町村誌を10冊、単著10冊、論文50本以上を手掛け、その総頁は13,000ページにも及ぶ。 代表的なものに、「三重郷土誌」、「与謝郡誌」などがあり、戦時中のため発刊はできなかったが峰山町誌編さんも手掛けていた。					
主な財源						
評価・課題等	市内図書館・図書室や市外関係機関への配付を行い、活用を図った。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,801千円		2,237千円	436千円	80.5 % 683千円
目的	京丹後市に数多く残されている文化財や、その調査成果などを広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財保護の重要性を知ってもらい文化財の普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	来訪者のために、市内各地に残る指定文化財などの貴重な文化財を観覧する展示会を開催し、展示会とリンクする形で「京丹後市史」をはじめとする文化財の調査成果を広く周知するための講座を開催した。また上前智祐氏からの絵画寄贈を受け、寄贈作品の運搬・収納棚設置・写真撮影を行った。			
	○文化財セミナー 講師謝金・旅費（6人） 357千円			
	・第1回（7/26） 参加者130人 ・第3回（12/16） 参加者100人			
	・第2回（12/2） 参加者100人 ・第4回（3/2） 参加者 80人			
	※第2回文化財セミナーは平成24年度京丹後市小町ろまん短歌大会と共催			
	※第3・4回文化財セミナーは丹後建国1300記念プレ事業として開催			
	○「京丹後史博士」育成講座			
	外部講師（4人）報償費・費用弁償 15千円			
	・講座12回開催 受講生延べ324人 平成24年度京丹後史博士認定者 2人			
	○網野郷土資料館まつり			
「織りの実演」謝礼（2人） 18千円				
○丹後古代の里資料館リニューアル記念展示「丹後型円筒埴輪の世界」				
小冊子印刷・展示パネル作成・消耗品等 365千円				
○上前智祐氏絵画寄贈関係				
運搬経費（美術運送・職員旅費） 159千円				
写真撮影（委託料・指導謝礼1人） 89千円				
作品収納用棚設置工事 798千円				
		参考	明許繰越費を除いた最終予算額	1,913千円
			実質的な予算執行率	94.1%
■平成25年度への繰越事業				
展示用オサガメ剥製製作		324千円	※平成25年8月完了	
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成事業資料代			36千円
評価・課題等	○価値の高い京丹後市の文化財を、市民や市外からの観光客等に理解してもらうとともに、各事業を通じて、丹後建国1300年を意識した内容に取り組み、その機運醸成に貢献することができた。 ○展示会やセミナーなどで多くの人に参加してもらえるように、広報に努めていく必要がある。			
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課		

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,000千円		2,000千円	0千円	100.0 % 2,000千円
目的	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱に基づき、文化財の修理保全事業に対して補助金を交付し、京丹後市内にある貴重な文化財を次世代に引き継ぐ。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市指定文化財等補助金 18件 2,000千円 内訳 ・ 社寺等文化資料保全補助金該当分 12件 1,556千円 ・ 国、府指定補助金該当分 3件 287千円 ・ 災害復旧関連事業分 3件 157千円 事業対象は神社、寺院の建造物修理、郷土芸能の衣装道具の新調、仏像の修理などで、事業費の総額は23,460千円であった。 ※参考 平成23年度事業実績 補助件数 14件 補助金額 2,000千円 事業総額 17,749千円			
主な財源				
評価・課題等	補助金交付により、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。			
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課		

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	
細事業名	02 史跡等維持管理事業				決算書 P.354
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,678千円		2,749千円	71千円	97.4 %	2,334千円
目的	170件を数える京丹後市にある国指定・府指定・市指定文化財の補修や草刈等の維持管理を行うことで、文化財の保全や啓発を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,362千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財の見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、竹野神社など16か所 ○指定文化財関連施設管理経費 42千円 ・郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 11千円 ・火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円 ○丹後震災記念館等活用指導事業（旅費・手数料） 58千円 丹後震災記念館等の今後の活用について専門家を招き検討を行った。 ○シワエノキ保存活用事業（委託料） 560千円 浦嶋子の伝承の残る樹木のシワエノキが突風により倒木した。現地での保存部分と、資料館で展示品として活用する部分に分け、それぞれ保存処理を行った。 ○市道箱石葛野線危険木伐採事業（委託料） 273千円 史跡函石浜遺物包含地周辺の市道沿いには枯木があり、強風により倒木する事例が発生した。事故を防止するため枯木を伐採した。 ○京丹後市指定文化財看板等設置事業（土地借上料・工事請負費） 383千円 新たに市指定文化財の看板を2基、表示板を5基設置した。また関連施設等の看板の設置にあたり土地借上料を支出した。				
主な財源					
評価・課題等	○史跡等の草刈清掃や、伝承の残る物品について保存処理を行うなど、文化財の保全が図られた。これにより、文化財見学等の利用促進につながった。 ○文化財案内板、表示板の設置を行い文化財の啓発を図ることができたが、まだ未設置のものもあるため、継続的な取り組みが必要である。 ○市道沿いにある枯木の伐採ができ、今後の事故への対策を講ずることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業		
細事業名	01 文化財整理事業				決算書	P.356
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
218千円		229千円		11千円	95.1 %	229千円
目的	京丹後市に数多く残されている写真資料について、所在確認とデジタル化を行い、今後の活用を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	平成20年度より、京丹後市が保有する膨大な写真を調査確認し、重要な写真をスキャニングし、デジタルデータ化を行っている。平成24年度については5,321点をデジタル化できた。（累計 28,375点） 写真整理事業 ○臨時職員賃金（1人分）129千円 （期間：平成24年12月14日～平成25年3月25日 52日間） ○消耗品費 87千円 ○手数料（ごみ持込処理手数料）2千円					
主な財源						
評価・課題等	○寄贈を受けた写真資料をデジタル化することで、文化財啓発活動のみならず観光関連資料としても有効に活用できる。 ○発掘調査資料には、スライドが多くあり、資料の劣化が懸念されることから、資料のデジタル化が今後の検討課題である。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業		
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業				決算書	P.358
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,057千円		2,139千円		82千円	96.1 %	2,139千円
目的	発掘調査等を実施することで、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげる。					
主要な事務・事業及び成果の概要	平成24年度は、将来の開発が予定されている久美浜町女布に所在する女布遺跡の範囲確認調査を実施した。調査成果は報告書にまとめ、年度末に報告書を発刊した。また、併せて市内の遺跡台帳の整理を行った。					
	・女布遺跡発掘調査 現地調査期間：平成24年10月22日～11月30日 ・調査成果：それまでの周知の埋蔵文化財の範囲から外側に広がること、遺跡の存続年代の中心が弥生時代後期～中世にあることが判明した。 ○事業経費 ・共済費 発掘調査等補助員に関する労災保険料、雇用保険料 5千円 ・賃金 発掘調査等補助員賃金（延べ73日、3人） 521千円 ・旅費 調査に関する協議旅費 9千円 ・需用費 発掘調査用具等消耗品 76千円 発電機燃料代 3千円 報告書印刷費（300部）、写真現像代等 81千円 ・役務費 仮設トイレし尿汲み取り手数料 2千円 ・委託料 発掘調査等作業員人材派遣委託料 560千円 （作業員：延べ59日、3人 整理員：延べ25日、1人） ・使用料及び賃借料 協議に関する有料道路通行料 3千円 掘削及び埋戻しに関する重機借上料 749千円 発電機及び水中ポンプ等借上料 22千円 仮設トイレ借上料 26千円					
主な財源	国補 府補	国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2） 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）				1,000千円 500千円
評価・課題等	○将来の開発が計画されている地区において範囲確認調査を実施したことにより、開発時の埋蔵文化財の調整を行うための基礎資料を整理することができた。 ○今後も将来の開発に備えた円滑な調整と文化財の保護活用を図るため、市内遺跡の分布調査・範囲確認調査を進めていく必要がある。					
事業所管課		教育委員会／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費		
細事業名	01 文化財保護一般経費				決算書	P.358
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
653千円		697千円		44千円	93.6 %	567千円
目的	文化財保護課に關係する各種団体への補助金の交付や負担金を支出するほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付のほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。 ○文化財関係加盟団体経費 70千円 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 ・ 全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・ 全国鳴き砂ネットワーク 20千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 (成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) ・ 光熱水費 33千円 ・ 電話料、手数料（倒木処理、消火器処理）、火災保険料 173千円 ・ 機械警備委託料、草刈委託料 153千円 ・ 修繕料（看板修理） 125千円 ○一般事務経費 ・ 消耗品費 17千円 ・ 旅費 32千円					
主な財源						
評価・課題等	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施することができた。					
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業			
細事業名	01 市史編さん事業（繰越）					決算書	P.356
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市		計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,300千円		2,300千円		0千円	100.0 %	2,300千円	
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知ってもらう。また、編さん過程で得られた知見をもとに文化財セミナー等を開催し普及啓発を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○京丹後市史本文編『図説京丹後市の歴史』印刷 2,300千円 平成23年度からの繰越事業である本業務について、印刷業務が完了し1,500冊刊行することができた。（平成24年10月31日発行）						
主な財源							
評価・課題等	○京丹後市史本文編の刊行を通して、京丹後市の歴史を広く一般市民に普及啓発することに役立った。 ○刊行後、新聞で大きく取り上げられたこともあり多くの方に購入いただき、市の歴史を多くの市民に知ってもらう機会につながっている。						
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
11,491千円		11,636千円	145千円	98.7 % 11,876千円
目的	京丹後市史を刊行し、京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知ってもらう。また、編さん過程で得られた知見をもとに文化財セミナー等を開催し普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	本文編2冊と資料編12冊の刊行のため各種調査を実施した。平成24年度は資料編『京丹後市の美術』、『京丹後市の災害』、『史料集総動員体制と村』、『丹後国御檀家帳』を刊行した。 ○編さん委員報酬（調査報酬延べ45人） 732千円 ○市史編さん専門委員報酬（編さん補助業務1人、週4日勤務） 1,827千円 日額9,000円×1人×203日=1,827千円 ○共済費（専門委員社会保険料等） 287千円 ○各専門部の調査（8専門部、部員20人） 931千円 調査員謝金日額7,000円×133日=931千円 ○費用弁償（調査員旅費） 640千円 ○京丹後市史資料編印刷費 5,608千円 『京丹後市の美術』1,985千円（平成25年3月29日発行） 『京丹後市の災害』1,607千円（平成25年3月29日発行） 『史料集 総動員体制と村』1,153千円（平成25年3月30日発行） 『丹後国御檀家帳』863千円（平成25年3月29日発行） 各600部作成。 ○使用料及び賃借料（調査員宿泊費） 210千円 ○久美浜町内社寺建築調査委託料（神社62件、寺院27件） 700千円 ○その他事務経費（職員旅費、消耗品等） 556千円			
主な財源				
評価・課題等	○4冊の資料編の刊行を通して、京丹後市の歴史を広く一般市民に普及啓発することに役立った。 ○刊行された資料編は、少し専門的な難解な内容を含んでおり、今後講演会や講座等の啓発活動の中で、資料編の内容について、分かりやすく周知をする活動が必要となる。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			